

令和元年度 月島第二小学校における重点目標

中央区立月島第二小学校 住所 中央区勝どき1-12-2

校長 鈴木 政博

児童数 574名 学級数 20 教職員数 52名

教育目標

- よく考える子ども ○ 心の豊かな子ども ○ たくましい子ども

令和元年度の重点

ユニバーサルデザインの考え方に基づく学級づくりと学習指導

重点目標1 「勉強を教えてくれるから、学校が好き」 確かな学力の向上を図る。

評価項目：全ての児童にとって、分かりやすい授業改善

- ① 授業の流れをあらかじめ伝えることや、板書やプリントで大事な部分を色分けするなどの授業の工夫がされている。
- ② ICT機器の活用によって、児童の困難が軽減されている。
- ③ 分かりやすい授業のために、教室の掲示物が工夫されている。
- ④ 安心して過ごしやすい教室の整備、話し合い活動を行いやすい学級風土づくりが進められている。
- ⑤ 授業改善や指導方法の工夫を図ることができている。算数科では、習熟度別少人数指導を行うことや東京ベーシック・ドリルを活用することなどを通し、基礎・基本の定着を図る。国語科では、校内研究でもあるユニバーサルデザインの視点を生かした授業展開を行うことで「分かる授業」を目指し、学力の向上を図る。

評価指標：①～④について児童、教員、保護者の肯定的評価80%以上

- ⑤ 算数科では、全学年ともに、2学期までには前学年の内容の80%以上の正答率を指標とする。

重点目標2 「へんじ・あいさつ・あとしまつ」 礼儀正しい子どもを育てる。

評価項目：日本人としての自覚をもち、次の3点を柱に学年に応じて指導する。

- ① 大きな声で、へんじをする。：自分を大切にする。
- ② 気持ちのよいあいさつをする。：相手を大切にする。
- ③ きちんとあとしまつをする。：みんなを大切にする。

評価指標：①～③について児童、教員、保護者の肯定的評価80%以上

重点目標3 特色ある教育活動の充実

評価項目：本校の特色ある教育活動をオリンピック・パラリンピックと関連付け、中央区オリンピック・パラリンピック教育の「4つの柱」による学習として展開していく。

- ① マイスクールスポーツとして「なわとび」を重点化し、年間を通し計画的に取り組むことで体力の向上を目指すとともに、体力づくりへの意識を向上させる。(体力向上)
- ② 「人に学ぶ、人と学ぶ」活動を通し、ボランティアマインド、障害者理解を推進し、ハートフル学習を充実させる。

③ 中央区版一校一國運動を通じた学習とし、カンボジアについて学習したり、「礼法」「囲碁教室」「国際交流教室」を充実させたりする。

④ オリンピック・パラリンピックの精神の涵養、環境学習の促進により、オリンピック・パラリンピック運動を推進する。

評価指標：①「体力調査」の数値結果を分析し、前年度と数値比較を行うことで課題を把握し、改善のための取組を全校を上げ行う。

②～④ 児童の「東京 2020 ノート」の抜粋を教員の自己評価の資料とする。外部評価委員会において、総合的に評価する。

#### 家庭や地域との連携

- 「たより月二」、ホームページ、学年・学級だより等による学校からの発信を充実させ、学校・家庭・地域が連携して教育活動を進められるようにする。
- 教員はPTA・地域行事への参加を積極的に行うと共に、保護者には学校行事・保護者会等への協力を依頼し、相互の連携を図る。
- 重点目標の周知を図り、保護者に自己評価アンケートに協力してもらう。